



2022年度

アンケートの結果報告です

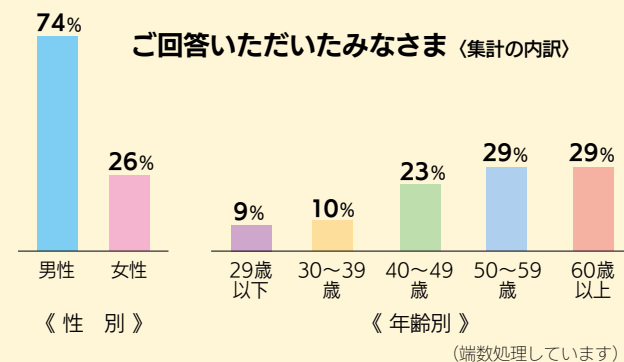
IBM 健保組合では、今後の事業展開に活かしていくためのご意見・ご要望を広くお聞きするため、毎年アンケート調査を実施しています。

今年度も被保険者のみなさまのなかから無作為に選んで調査を実施、ご回答いただいた方々の集計結果をご報告します。ご協力いただき、ありがとうございました。今後の運営のために参考にさせていただきます。

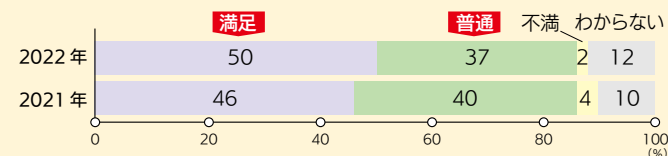
IBM 健保の事業全体について

昨年に続き 85% 以上の方が「満足」「普通」と回答されています。

引き続き満足いただけるよう、効率的に事業を展開していきます。



●当健保の事業全体についてどの程度満足していますか？

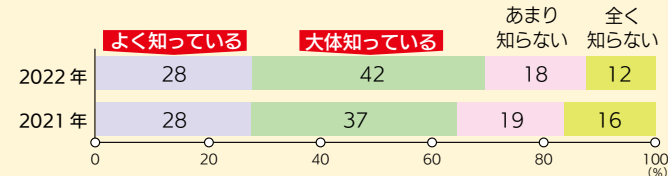


接骨院・整骨院（柔道整復師）について

接骨院や整骨院で健康保険が利用できるのは、外傷性が明らかな骨折、脱臼（応急手当以外は医師の同意が必要）、打撲、ねんざ、挫傷（肉離れ等）だけで、日常生活による単純な疲れや肩こり、腰痛、体調不良やスポーツによる筋肉疲労・筋肉痛等に対する施術には使えません。

今後ご理解いただけるよう情報発信に努めてまいりますので、適正な利用をお願いいたします。

●接骨院や整骨院で健康保険が利用できる傷病は限られていることをご存知ですか？

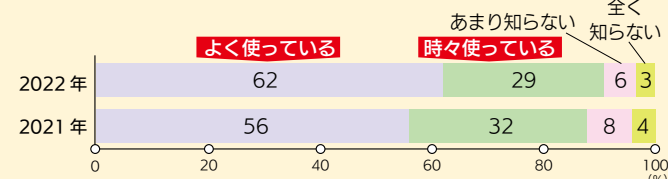


ジェネリック（後発医薬品）医薬品について

ジェネリック医薬品の使用割合は年々上昇しており、約9割の方が「よく使っている」「時々使っている」と回答されています。

すこやかサポート Plus (SSP) を通じた情報発信を行い、さらなる利用率向上に努めてまいります。

●ジェネリック医薬品を利用したことがありますか？

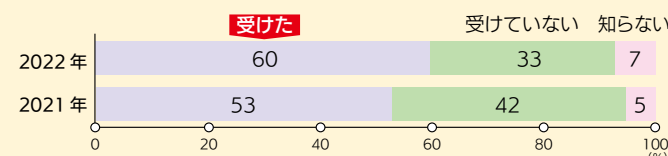


疾病予防プログラムについて

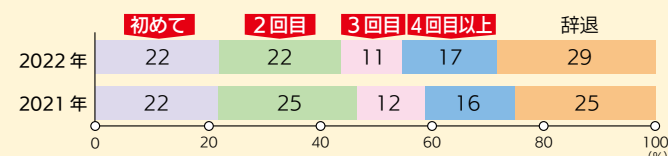
被扶養者の健診の受診者が 2021 年と比較すると 7 ポイントも増加しています。

今後も早期発見、早期治療のため、年に一度の健診を受けていただけるよう、受診促進のご案内等に努めてまいります。

●被扶養者は健診を受けましたか？



●特定保健指導の参加状況をお聞かせください



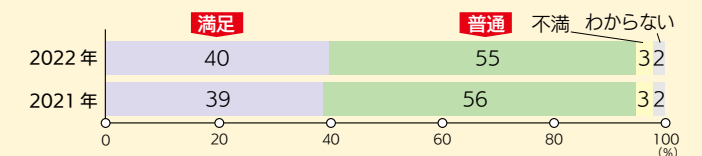
健診を受け、特定保健指導の対象になった方には、個別にご案内をしています。生活習慣病予防のため、必ずご参加ください。

すこやかサポート Plus (SSP) について

SSP をご利用いただいている方の 95% 以上は、「満足」「普通」と回答いただいています。SSP では、家族健診の申込、健診結果の閲覧、かかった医療費、給付金額、ジェネリック通知等が確認できます。

健康管理に、医療費の確認等にぜひご利用ください。

●すこやかサポート Plus (SSP) をご利用されている方にお聞きします。

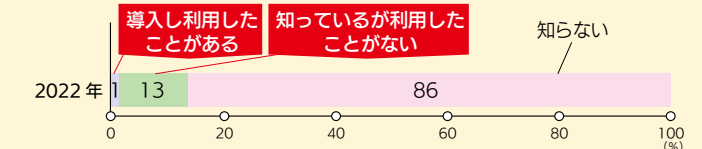


I-Support（健康相談窓口「みんなの家庭の医学」）について

日常の健康についてのお悩みは「みんなの家庭の医学」で解決できます。

気になる症状から、健診結果の見方、子育て、介護の悩みまで、医療専門職へ直接相談ができます。

●2022年4月から「みんなの家庭の医学」のアプリ導入で簡単に情報検索や健康相談ができるようになったことをご存知でしたか？



ご活用ください！

I-Support

(健康相談窓口「みんなの家庭の医学」)

IBM健保

Q検索

I-Support

アイサポート

健康相談窓口

クリック

公式アプリで保健室をいつも手元に

信頼できる健康情報や医療の専門家によるアドバイスなどで、家族みんなで健康になれる「家庭の医学」の公式アプリです。

ちょっとした体調不良や気になる家族の健康状態など、健康に関することはアプリ内ですべて完結。「日常以上、病院未満」の健康のお悩みをワンストップで解決できます。

家庭の医学＋、みんなのお悩み Q&A

「家庭の医学」をデータベースとした辞書コンテンツと、からだところの健康相談に寄せられるよくある相談事例の Q&A コンテンツです。



家族機能

家族とアプリ連携して健康状態を共有したり、歩数ゲームに参加できます。離れて住む家族もみんなで一緒に健康増進。



健康相談

アプリから健康の悩みを医療専門スタッフに直接相談。利用シーンに応じて、相談形式を選択できます。(ユーザ登録・団体認証が必要です)



利用可能対象者

被保険者およびご家族（被扶養者以外のご家族も利用できます）